

第3回新神戸地域ビジョン検討委員会 次第

令和3年11月11日（木）

9時30分～11時30分

場所：新長田合同庁舎（神戸県民センター）D、E会議室

1 開会

2 協議事項

新神戸地域ビジョン素案について

3 閉会

(配布資料)

- 資料 1 委員からの意見
- 資料 2-1 意見への対応案
- 資料 2-2 新旧対照表
- 資料 3 新神戸地域ビジョン 概要
- 資料 4 策定スケジュール
- 資料 5 新神戸地域ビジョン検討委員会設置要綱

新神戸地域ビジョン（素案）事前確認でいただいたご意見への対応案

No	資料2-2 該当箇所	ご意見	対応案
1	p. 1	<p>①つながるまち ア) 豊かな自然環境を次代につなげる</p> <p>廃棄物再利用や脱炭素化も大事であるが、自然環境に対しては、炭酸ガス問題が喫緊の課題。個人でできる節電や節エネルギーという単語を一言挿入してほしい。 例えば、「節電や節エネルギー・ゴミ分別ルールを理解と順守を知識として持ち合わせることは勿論として」などを「環境にやさしい暮らしを広げる」の説明文の文頭に挿入する。</p>	<p>「たとえば」以降の文章について、「普段の生活のなかで節電を心がけたり、」と「環境への負荷を減らす、地域内での資源の循環を促すことを通して、」と追加・修正する</p>
2	p. 2	<p>①つながるまち イ) 都市と自然がシームレスにつながる</p> <p>地理的・空間的な制約から解放されてとあるが、「解放」の意味が分かりにくい。 制約がなくなるという事は、現在よりも安価で快適な移動機関が新たにできるという事を意味するののか。</p>	<p>「地理的・空間的な制約から解放されて」を「物理的な距離を意識することなく」とする</p>
3	p. 2	<p>①つながるまち イ) 都市と自然がシームレスにつながる</p> <p>「これからの農都：「農」と都市生活の豊かな関係を深める」について、神戸市は農業だけでなく、漁業もさかんである。現状では農業だけという誤解を与えさせてしまうのではないか。</p>	<p>「農」を「1次産業」に変更し、本文中に「農業や「漁業」を働く場として～」を追加する</p>
4	p. 3	<p>①つながるまち ウ) 世界とつながる ②うまれるまち ウ) 新しい共生のカタチがうまれる</p> <p>全くその通りで同感である。成熟した文化を若返らせるには異文化に接するのが最適。 「若返り」や「活性化」や「新陳代謝」という単語をどこかにちりばめていただきたければなお良い。</p>	<p>①のウ) について、「神戸を訪れたい、神戸で働きたい人を増やす」の文末に、地域の活性化について記載する</p>
5	-	<p>①つながるまち エ) 歴史と文化を未来につなげる</p> <p>湯女を期限とする有馬芸妓文化 →湯女を起源とする有馬芸妓文化 ではないか。</p>	<p>誤字のため、修正する</p>
6	p. 4	<p>②うまれるまち イ) 自分らしいライフスタイルがうまれる</p> <p>「様々なライフコースのなかで人々の希望がかなう」について、「ジェンダーに関わりなく様々なライフコースを歩む～」とあるが、ライフコースは「ジェンダー」だけによって影響されているわけではなく、＜県民の意見＞からもこの文章の背景が伺えないので主旨がわかりづらい。 性別役割分業からの脱却といったことがメインの主張であるなら表現を工夫するか、＜県民の意見＞で補足してはどうか</p>	<p>7番で対応する</p>
7	p. 5	<p>②うまれるまち イ) 自分らしいライフスタイルがうまれる ウ) 新しい共生のカタチがうまれる</p> <p>ウ) 「互いに尊重しあい、共に生きる」に、「お互いの性別や～性的思考・性自認を尊重しあうとともに～」との記載があるので、イ) 「様々なライフコースのなかで人々の希望がかなう」の中の「ジェンダー」の記載は文脈的にも合致しないため、削除もしくは別の表現をしてはどうか。</p>	<p>イ) の「ジェンダーに関わりなく」を削除する</p>
8	p. 5	<p>②うまれるまち イ) 自分らしいライフスタイルがうまれる</p> <p>2項目に「・・・希望がかなう・・・」とあるが、「かなう」の主語が分かりにくい。 例えば、「・・・希望、それぞれがかなう・・・」としたらどうか。</p>	<p>「・・・関わり方」の後に「、これら」を追加する</p>
9	p. 5	<p>②うまれるまち ウ) 新しい共生のカタチがうまれる</p> <p>すべての人を社会のメンバーとして迎え入れるについて、「迎え入れる」では、受け入れ側の立場が上であると誤解を招くため、表現を変更した方がよいのではないか。</p>	<p>項目名を「すべての人が社会のメンバーになる」とし、本文中の「受け入れて」を「認め合い」とする</p>
10	p. 7	<p>③そだてるまち ア) 次の世代、次の社会の担い手をそだてる</p> <p>「この地域だからこそ深化してきた」とあるが、深化の主語は教育。だとすれば、「教育は深化してきた」の意味がわかりにくい。教育に対する理解か、教育している内容か、深化の対象を明らかにした方が分かりやすいのではないか。</p>	<p>主語となる「防災教育は」の後ろの「、」を削除する</p>

No	資料2-2 該当箇所	ご意見	対応案
11	p. 7	<p>③そだてるまち ア) 次の世代、次の社会の担い手をそだてる</p> <p>神戸だから学べることを大切にするについて、「これからの地域の担い手をそだてる～」とあるが、国際都市として、地域のみならず、社会全体の担い手となることを目指してよいのではないか。</p>	<p>「地域の担い手」を「社会の担い手」とする</p>
12	p. 7	<p>③そだてるまち</p> <p>③の最初の項目（○でアイウエを記載している場所）のうちイ)の表現について、「子どもから老人まで～」となっているが、「老人」という表現よりも、「高齢者」のような表現に変更してはどうか。</p>	<p>「老人」を「高齢者」に修正する</p>
13	p. 7	<p>③そだてるまち イ) 安心・安全な暮らしを守る地域のつながりをそだてる</p> <p>地域のつながりに新しい人を迎え入れるについて、全く別のつながりを作ること否定しなくてよいのではないか。 また、タイトル、本文ともに現状のつながりを尊重するようにとしか読み取れず、誤解を与えるのではないか。 さらに、「迎え入れる」という表現から閉鎖的な地域の印象を受けるため、もう少し開かれた印象の表現にできないか。オンライン化の進展や「関係人口」など地域とのかかわり方も多様化する中、そういった多様な関わりを尊重するものとして、地域の側からも積極的に外に向かって開くような印象が与えられるとよい。</p>	<p>新しいつながりを否定している文章は削除し、一文目を全体的に修正する。 また、項目名を「地域のつながりを開く」とする</p>
14	p. 9	<p>③そだてるまち エ) 多様な主体がともに社会をそだてる</p> <p>「・・・利他の精神を引き継ぎ」とあるが、引き継ぐとすると、育まれてきた市民活動と利他の精神を事務的に引き渡すという意味合いになってしまう恐れがある。「引継ぎ」でなく、例えば、「譲与」が好ましいのではないか。</p>	<p>「引き継ぎ」を「継承し」とする</p>
15	p. 9	<p>③そだてるまち エ) 多様な主体がともに社会をそだてる</p> <p>多様な主体がともに社会をそだてるについて、タイトルの「社会」は、前段の「ウ 地域の担い手をそだてる」における「地域」とは違う領域を指しているのか。このトピックの説明文を読むと地域課題解決などあくまでも地域を主眼に置いているようであり、タイトルがあっていないのではないか。 例：「公共の担い手をそだてる」について、説明からは地域団体等の活動を想定しているように見受けられ、「ウ 地域の担い手をそだてる」のほうが分類としてあっているように感じられる。</p>	<p>エ)の2項目の本文について、「地域」を「神戸が抱える」や「社会」と変更する</p>
16	—	<p>全体</p> <p>「ビジョンの種、ビジョンの芽」など、直近の事例が多く、30年後の世の中を想像させるようなものがないのではないか。 30年後の課題が何かを発見して掘り起こすことが、ビジョンには必要なことではないか。</p>	<p>ビジョンは未来予想予測をするものではないと考えている。神戸がどうなって欲しいかを考えていくのがビジョンの役割。 神戸の育んできた、或いは神戸が蓄積してきた良いものを、2章で示している次の世代の社会課題の解決にどうつなげていくかということ、まとめていくような役割だと考えている。</p> <p>また、このビジョンでは「どのような行動をすれば、この将来像に近づくことができるのか」という取組の方向性として、「このような取組がもっと普通になっていくといい」という既に神戸地域で行われている事例を紹介したいということで、ビジョンの種、芽を記載している。</p>

資料 2-1	変更前	変更後
No. 1	<p>①つながるまち／つながる・つなげる（素案 p. 30）</p> <p>ア）豊かな自然環境を次代につなげる</p> <p>資源を循環させて活用することで、豊かな自然を守り、脱炭素社会の実現に向けた環境と調和する暮らしを次代に引き継ぐ</p> <p>環境に優しい暮らしを広げる</p> <p>自分たちの地域のこれからを考えながら、豊かな自然環境を守るためにできることを選ぶ。たとえば暮らしのなかで発生する廃棄物を再利用して農産物の生産に役立てることができれば、<u>地域内で資源が循環し、よりよい自然環境が</u>つくられる。</p> <p>地域のなかで資源を有効に循環させる</p> <p>企業や組織を含めた地域の担い手が、脱炭素化に対応する製品の生産や購入、ゴミの削減やモノの再利用など自然環境に配慮した行動を心掛けることで、社会を構成する様々な主体による環境配慮行動が繋がった経済システムができる。</p> <p>イ）都市と自然がシームレスにつながる</p> <p>都市と自然が今よりも近い関係になること、生産者と消費者が顔の見える関係になることによって、神戸の豊かさをもっと実感できる</p>	<p>①つながるまち／つながる・つなげる（素案 p. 30）</p> <p>ア）豊かな自然環境を次代につなげる</p> <p>資源を循環させて活用することで、豊かな自然を守り、脱炭素社会の実現に向けた環境と調和する暮らしを次代に引き継ぐ</p> <p>環境に優しい暮らしを広げる</p> <p>自分たちの地域のこれからを考えながら、豊かな自然環境を守るためにできることを選ぶ。たとえば<u>普段の生活のなかで節電を心がけたり、暮らしのなかで発生する廃棄物を再利用して農産物の生産に役立てることができれば、環境への負荷を減らす、地域内での資源の循環を促すことを通して、よりよい自然環境が</u>つくられる。</p> <p>地域のなかで資源を有効に循環させる</p> <p>企業や組織を含めた地域の担い手が、脱炭素化に対応する製品の生産や購入、ゴミの削減やモノの再利用など自然環境に配慮した行動を心掛けることで、社会を構成する様々な主体による環境配慮行動が繋がった経済システムができる。</p> <p>イ）都市と自然がシームレスにつながる</p> <p>都市と自然が今よりも近い関係になること、生産者と消費者が顔の見える関係になることによって、神戸の豊かさをもっと実感できる</p>

資料 2-1	変更前	変更後
No. 2	<p>地理的・空間的に自由な移動・交流ができる <u>地理的・空間的な制約から解放されて</u>、神戸にある豊かな自然と暮らしやすいサイズの市街地の間で誰もが気軽に移動や交流ができるようになれば、神戸の魅力がもっと高まる。</p>	<p>地理的・空間的に自由な移動・交流ができる <u>物理的な距離を意識することなく</u>、神戸にある豊かな自然と暮らしやすいサイズの市街地の間で誰もが気軽に移動や交流ができるようになれば、神戸の魅力がもっと高まる。</p>
No. 3	<p>これからの「農都」：「農」と都市生活の豊かな関係を深める 都市で暮らす人が生産物を消費するだけでなく、たとえば農業を働く場の1つとして選ぶことができる、生産に関わることもできるような関係をつくっていくことで、新しい「農都」神戸の未来が見えてくる。</p> <p>ウ) 世界とつながる 豊かな自然と暮らしやすいまちの近さ、外向性と進取の気性と いった神戸の魅力を世界に発信する</p> <p>神戸の豊かさと固有の文化を発信する 神戸に暮らす人みんながそれぞれのやり方で、神戸がどんな まちなのか、どんな暮らしがあって、どんな人たちがいるのか を発信していくことによって、神戸ならではの良さが地域の内外 に伝わり、人を惹きつけることにつながる。</p> <p>神戸を訪れたいくなる、神戸で働きたいくなる人を増やす 観光、ビジネス、移住、様々なかたちで神戸以外の地域、国外 とのつながりが広がれば、神戸に興味を持つ人、実際に訪れる</p>	<p>これからの「農都」：1次産業と都市生活の豊かな関係を深める 都市で暮らす人が生産物を消費するだけでなく、たとえば農業や漁業を働く場の1つとして選ぶことができる、生産に関わることもできるような関係をつくっていくことで、新しい「農都」神戸の未来が見えてくる。</p> <p>ウ) 世界とつながる 豊かな自然と暮らしやすいまちの近さ、外向性と進取の気性と いった神戸の魅力を世界に発信する</p> <p>神戸の豊かさと固有の文化を発信する 神戸に暮らす人みんながそれぞれのやり方で、神戸がどんな まちなのか、どんな暮らしがあって、どんな人たちがいるのか を発信していくことによって、神戸ならではの良さが地域の内外 に伝わり、人を惹きつけることにつながる。</p> <p>神戸を訪れたいくなる、神戸で働きたいくなる人を増やす 観光、ビジネス、移住、様々なかたちで神戸以外の地域、国外 とのつながりが広がれば、神戸に興味を持つ人、実際に訪れる</p>

資料 2-1	変更前	変更後
No. 4	<p>人、働く人が増えるとともに、そのつながりを通して神戸の魅力が発信されることで新たな人を呼び込むことができる。</p> <p>エ) 歴史と文化を未来につなげる 神戸に固有の歴史と文化、風土を、普段の生活のなかで、あるいは学びの場、観光を通して感じるとともに、未来に伝える</p> <p>学びのなかで自分たちのまちとつながる・まちを知る機会をもつ あらゆる世代の人々が、学校で、あるいは生涯学習を通して地域の歴史や文化に対する理解を深めるなど、それぞれの学びのなかで自分たちが住んでいるまちとつながる、まちを知ることができる機会が増える。</p> <p>地域資源の保護・活用を通してまちの今までとこれからを考える 身近な文化財、地域の歴史を語る貴重な財産を保護したり、生活のなかで実際に利用したりすることを通して、自分たちのまちの今までとこれからを考える。地域の歴史と文化を将来につなげる活動が広がることで人々の間に新しいつながりもうまれる。</p>	<p>人、働く人が増えるとともに、そのつながりを通して神戸の魅力が発信されることで新たな人を呼び込み、<u>地域を活性化</u>することができる。</p> <p>エ) 歴史と文化を未来につなげる 神戸に固有の歴史と文化、風土を、普段の生活のなかで、あるいは学びの場、観光を通して感じるとともに、未来に伝える</p> <p>学びのなかで自分たちのまちとつながる・まちを知る機会をもつ あらゆる世代の人々が、学校で、あるいは生涯学習を通して地域の歴史や文化に対する理解を深めるなど、それぞれの学びのなかで自分たちが住んでいるまちとつながる、まちを知ることができる機会が増える。</p> <p>地域資源の保護・活用を通してまちの今までとこれからを考える 身近な文化財、地域の歴史を語る貴重な財産を保護したり、生活のなかで実際に利用したりすることを通して、自分たちのまちの今までとこれからを考える。地域の歴史と文化を将来につなげる活動が広がることで人々の間に新しいつながりもうまれる。</p>

資料 2-1	変更前	変更後
	<p>②うまれるまち／うまれる・うみだす（素案 p. 41）</p> <p>ア) 新しいアイデア、新しいビジネスがうまれる</p> <p>多様なアクターが参加した柔軟でしなやかなつながりによって、新しいアイデアに基づく起業や人々の幸せに貢献するビジネスが実現できる</p> <p>アイデアをかたちにできる、起業できる</p> <p>神戸が新しいアイデアを実験する、実践する、実装するチャンスにあふれ、やる気さえあれば起業できるまちになることで、人々の幸せに貢献するビジネスが地域のなかにたくさんうまれる。</p> <p>多様なプラットフォームから新しい事業がうまれる</p> <p>異なる業種や経歴など多様なバックグラウンドをもった人たちが出会えるつながりがまちのあちこちでできることで、思いもしなかったアイデアがうまれたり、新しいアイデアの実現がよりスムーズに進むようになる。</p> <p>イ) 自分らしいライフスタイルがうまれる</p> <p>様々なライフコース上の場面でうまれる生活ニーズを一人ひとりが希望するライフスタイルに合わせながら解決できる</p> <p>自分らしいライフスタイルを実現できる</p> <p>学びや子育て、仕事などライフステージのそれぞれの場面で、</p>	<p>②うまれるまち／うまれる・うみだす（素案 p. 41）</p> <p>ア) 新しいアイデア、新しいビジネスがうまれる</p> <p>多様なアクターが参加した柔軟でしなやかなつながりによって、新しいアイデアに基づく起業や人々の幸せに貢献するビジネスが実現できる</p> <p>アイデアをかたちにできる、起業できる</p> <p>神戸が新しいアイデアを実験する、実践する、実装するチャンスにあふれ、やる気さえあれば起業できるまちになることで、人々の幸せに貢献するビジネスが地域のなかにたくさんうまれる。</p> <p>多様なプラットフォームから新しい事業がうまれる</p> <p>異なる業種や経歴など多様なバックグラウンドをもった人たちが出会えるつながりがまちのあちこちでできることで、思いもしなかったアイデアがうまれたり、新しいアイデアの実現がよりスムーズに進むようになる。</p> <p>イ) 自分らしいライフスタイルがうまれる</p> <p>様々なライフコース上の場面でうまれる生活ニーズを一人ひとりが希望するライフスタイルに合わせながら解決できる</p> <p>自分らしいライフスタイルを実現できる</p> <p>学びや子育て、仕事などライフステージのそれぞれの場面で、</p>

資料 2-1	変更前	変更後
No. 6, 7 No. 8 No. 9	<p>自分が何を大切に、どこに自分らしさを発揮したいか、そういった生き方への希望やこだわりを、一人ひとりが自ら選択し、かなえることができる。</p> <p>様々なライフコースのなかで人々の希望がかなう <u>ジェンダーに関わりなく</u>様々なライフコースを歩むすべての人の仕事と生活のバランスと調和、ケアのあり方、地域や社会との関わり方に対する希望がかなうことがまちの幸福につながる。</p> <p>ウ) 新しい共生のかたちがうまれる すべての人を社会のメンバーとして受け入れて包み込むまちになることで、誰一人取り残さない次世代の共生社会がみえる</p> <p>すべての人を社会のメンバーとして迎え入れる 様々なルーツをもつ人々を短期的に地域に受け入れる、生活を支援するだけでなく、長く共に地域で学ぶ、働く、暮らすメンバーとして<u>受け入れて支え合う</u>ことを通して、次代につながる多文化共生の姿が見えてくる。</p> <p>互いに尊重しあい、共に生きる お互いの性別や障がいの有無、国籍、宗教、文化の違い、性的指向・性自認を尊重しあうとともに、社会的弱者、あらゆるハンディキャップを抱えた人々を地域から孤立させず、誰一人取り</p>	<p>自分が何を大切に、どこに自分らしさを発揮したいか、そういった生き方への希望やこだわりを、一人ひとりが自ら選択し、かなえることができる。</p> <p>様々なライフコースのなかで人々の希望がかなう <u>ジェンダーに関わりなく</u>様々なライフコースを歩むすべての人の仕事と生活のバランスと調和、ケアのあり方、地域や社会との関わり方、<u>これら</u>に対する希望がかなうことがまちの幸福につながる。</p> <p>ウ) 新しい共生のかたちがうまれる すべての人を社会のメンバーとして受け入れて包み込むまちになることで、誰一人取り残さない次世代の共生社会がみえる</p> <p>すべての人が社会のメンバーになる 様々なルーツをもつ人々を短期的に地域に受け入れる、生活を支援するだけでなく、長く共に地域で学ぶ、働く、暮らすメンバーとして<u>認め合い、支え合う</u>ことを通して、次代につながる多文化共生の姿が見えてくる。</p> <p>互いに尊重しあい、共に生きる お互いの性別や障がいの有無、国籍、宗教、文化の違い、性的指向・性自認を尊重しあうとともに、社会的弱者、あらゆるハンディキャップを抱えた人々を地域から孤立させず、誰一人取り</p>

資料 2-1	変更前	変更後
	<p>残すことなく共に生きることができる。</p> <p>エ) シビックプライドがうまれる 住む人みんなが神戸のことを、地域のことを自分のこととして考えることができる、神戸ならではのシビックプライドがもてる</p> <p>地域のことを「自分たちのこと」として考える 神戸に暮らす誰もが、住んでいる地域に愛着と誇りをもち、地域のことを自分のことのように考え、これからの神戸を自分たちでつくっていくという気持ちがうまれることで、神戸の魅力がもっと高まる。</p> <p>神戸のもつブランド、地域がもつ価値を再発見する 神戸に暮らすことの良さ、神戸がもつほかの土地にはない魅力を見つける、改めて気づくきっかけを普段の生活のなかにつくすることで、地域がもつ価値や、その価値をどのようにこれから活かしていくかを考えることができる。</p> <p>③そだてるまち／そだつ・そだてる（素案 p.51） ア) 次の世代、次の社会の担い手をそだてる 2050年、そしてさらにその先の社会と神戸を担っていく人々をそだてていく仕組みや工夫を考える</p>	<p>残すことなく共に生きることができる。</p> <p>エ) シビックプライドがうまれる 住む人みんなが神戸のことを、地域のことを自分のこととして考えることができる、神戸ならではのシビックプライドがもてる</p> <p>地域のことを「自分たちのこと」として考える 神戸に暮らす誰もが、住んでいる地域に愛着と誇りをもち、地域のことを自分のことのように考え、これからの神戸を自分たちでつくっていくという気持ちがうまれることで、神戸の魅力がもっと高まる。</p> <p>神戸のもつブランド、地域がもつ価値を再発見する 神戸に暮らすことの良さ、神戸がもつほかの土地にはない魅力を見つける、改めて気づくきっかけを普段の生活のなかにつくすることで、地域がもつ価値や、その価値をどのようにこれから活かしていくかを考えることができる。</p> <p>③そだてるまち／そだつ・そだてる（素案 p.51） ア) 次の世代、次の社会の担い手をそだてる 2050年、そしてさらにその先の社会と神戸を担っていく人々をそだてていく仕組みや工夫を考える</p>

資料 2-1	変更前	変更後
No. 10 No. 11 No. 12 No. 13	<p>子どもたちが地域と関わる居場所をつくる 地域の人が講師となって授業をしたり、放課後に宿題を見たり一緒に遊んだりするほか、子どもたちが祭りの準備や清掃活動といった地域の仕事を手伝うことを通して自分たちが住んでいるところに関心をもつ機会が増える。</p> <p>神戸だから学べることを大切にする 神戸は国際色豊かな都市的環境と海も山も近くにある豊かな自然環境のなかに学びの場がある。また、震災の経験と教訓を活かして作り上げてきた防災教育は、この地域だからこそ深化してきた。どこでも学べるだけでなく、神戸だから学べることを大切にすることでこれからの<u>地域</u>の担い手をそだてることができる。</p> <p>イ) 安心・安全な暮らしを守る地域のつながりをそだてる 神戸が、子どもから<u>老人</u>まですべての人にとって居心地の良い場所に、安心できる場所になるような地域のつながりを広げる</p> <p>地域のつながりに<u>新しい人</u>を迎え入れる 地域に根付いてきた今あるつながりを<u>そのまま残すのでもなく、全く別のつながりを新たに作るのでもなく、地域に関わりたい、同じ地域に住む人と交流したいという気持ちのある人</u>を迎え入れる。自然災害などのリスクにも備えるために、SNSなど新しい交流の方法も取り入れながら、ゆるやかなつながり</p>	<p>子どもたちが地域と関わる居場所をつくる 地域の人が講師となって授業をしたり、放課後に宿題を見たり一緒に遊んだりするほか、子どもたちが祭りの準備や清掃活動といった地域の仕事を手伝うことを通して自分たちが住んでいるところに関心をもつ機会が増える。</p> <p>神戸だから学べることを大切にする 神戸は国際色豊かな都市的環境と海も山も近くにある豊かな自然環境のなかに学びの場がある。また、震災の経験と教訓を活かして作り上げてきた防災教育は—この地域だからこそ深化してきた。どこでも学べるだけでなく、神戸だから学べることを大切にすることでこれからの<u>社会</u>の担い手をそだてることができる。</p> <p>イ) 安心・安全な暮らしを守る地域のつながりをそだてる 神戸が、子どもから<u>高齢者</u>まですべての人にとって居心地の良い場所に、安心できる場所になるような地域のつながりを広げる</p> <p>地域のつながりを<u>開く</u> 地域に根付いてきた今あるつながりを<u>生かす、新しいつながりをつくる、地域の外側とも積極的につながるなど、様々なかたちで地域に関わりたい、同じ地域に住む人と交流したいという気持ちのある人をつなぐ</u>。自然災害などのリスクにも備えるために、SNSなど新しい交流の方法も取り入れながら、ゆる</p>

資料 2-1	変更前	変更後
	<p>をそだてる。</p> <p>地域の人々が支え合うつながりを守る 地域には、まちづくり、お祭り、教育、防災、防犯など様々なテーマで人々がつながる場、まとまる機会がある。これら日常生活のなかに息づくつながりを守りながら、困ったときに支え合う仕組みをそだてるとともに、誰かのために何かしてみたいと思う人をその輪につなげる。</p> <p>ウ) 地域の担い手をそだてる 地域に関心をもつ人を実践的な活動に導くことを通して、世代を超えた多くの人々が地域の課題の解決、支え合いを担っていくことができるようにする</p> <p>地域のなかでつながりをつくる人を増やす 自分たちが暮らす地域のことを誰かに任せっきりにするのではなく、身の回りにあるモノやコトに関心をもつ人、実際に関わる人、地域のなかで困っている人と助けてくれそうな人をつないだり、他の地域から人を招き入れてくれる人をそだてる。</p> <p>相互扶助のサイクルを循環させる サポートする人／される人、何かを提供する人／される人といった互いの役割を固定化することなく、地域に暮らす人みんなが、誰かに助けてもらいながら、誰かの役にたつこともでき</p>	<p>やかなつながりを育てる。</p> <p>地域の人々が支え合うつながりを守る 地域には、まちづくり、お祭り、教育、防災、防犯など様々なテーマで人々がつながる場、まとまる機会がある。これら日常生活のなかに息づくつながりを守りながら、困ったときに支え合う仕組みをそだてるとともに、誰かのために何かしてみたいと思う人をその輪につなげる。</p> <p>ウ) 地域の担い手をそだてる 地域に関心をもつ人を実践的な活動に導くことを通して、世代を超えた多くの人々が地域の課題の解決、支え合いを担っていくことができるようにする</p> <p>地域のなかでつながりをつくる人を増やす 自分たちが暮らす地域のことを誰かに任せっきりにするのではなく、身の回りにあるモノやコトに関心をもつ人、実際に関わる人、地域のなかで困っている人と助けてくれそうな人をつないだり、他の地域から人を招き入れてくれる人をそだてる。</p> <p>相互扶助のサイクルを循環させる サポートする人／される人、何かを提供する人／される人といった互いの役割を固定化することなく、地域に暮らす人みんなが、誰かに助けてもらいながら、誰かの役にたつこともでき</p>

資料 2-1	変更前	変更後
No. 14	<p>るといふ相互扶助のサイクルが循環していく仕組みができる。</p> <p>エ) 多様な主体がともに社会をそだてる これまで育まれてきた市民活動、災害への備え、利他の精神を次世代に引き継ぎ、新しいメンバーを受け入れることを通して公共の担い手を増やす</p>	<p>るといふ相互扶助のサイクルが循環していく仕組みができる。</p> <p>エ) 多様な主体がともに社会をそだてる これまで育まれてきた市民活動、災害への備え、利他の精神を次世代に継承し、新しいメンバーを受け入れることを通して公共の担い手を増やす</p>
No. 14 No. 15	<p>公共の担い手を育てる 自分たちのまちのことを自分たちで解決することに関心のある人や団体にこれまで神戸で育まれてきた市民活動と利他の精神を引き継ぎ、地域の課題や問題を解決する実践の場に導くことで市民活動の担い手、公共の担い手が育つ。</p>	<p>公共の担い手を育てる 自分たちのまちのことを自分たちで解決することに関心のある人や団体にこれまで神戸で育まれてきた市民活動と利他の精神を継承し、神戸が抱える課題や問題を解決する実践の場に導くことで市民活動の担い手、公共の担い手が育つ。</p>
No. 15	<p>地域社会の維持に多様な人・組織が関わる 古くから市民活動が盛んであった神戸には、まちづくり、コミュニティの維持に関わる様々なNPO、市民団体があり、地域貢献に取り組んでいる企業も多数存在する。それらの地域を支える人や組織がつながる場を増やすとともに、異なる立場の人・組織の活動をコーディネートできる人をそだてる。</p>	<p>地域社会の維持に多様な人・組織が関わる 古くから市民活動が盛んであった神戸には、まちづくり、コミュニティの維持に関わる様々なNPO、市民団体があり、社会貢献に取り組んでいる企業も多数存在する。それらの社会を支える人や組織がつながる場を増やすとともに、異なる立場の人・組織の活動をコーディネートできる人をそだてる。</p>

新神戸地域ビジョンについて

神戸県民センター



新ビジョン策定の概要

策定期等

2022年3月策定 <2050年を展望>

(参考) 現行ビジョン 2001年 2月策定 <2030年を展望>

2011年12月改訂 <2040年を展望>

新ビジョンの構成

新全県ビジョン

大枠となる県全体の将来像

新地域ビジョン

県民が主体となって示す
地域の将来像と行動目標

ポイント

行政主導型の「計画」ではなく、住民自らが描き、その実現を目指そうとする「神戸地域の将来像」

策定手法

- ・ 検討委員会を設置して、検討を進める
- ・ 県民との意見交換を行い、新ビジョンに反映する

新ビジョン策定の流れ

県民との意見交換の実施

地域団体

ビジョンを語る会
神戸で活躍する団体・グループ等と将来像について意見交換



ビジョンを語る会
(神戸市小売市場連合会)

R2. 8. 28/9. 2/10. 6/10. 28

若者(大学生、社会人)

地域デザイン会議

これからの神戸を担う若者が議論を行い、将来の地域デザインを描くワークショップを開催



第3回地域デザイン会議(学生グループ)

R2. 8. 28/9. 18/10. 16/
11. 17/R3. 2. 23

ビジョン委員 一般県民

未来フォーラム

20代~80代の県民が4つのテーマに分かれ将来像を議論



神戸地域未来フォーラム 意見交換

R3. 2. 23

新神戸地域ビジョン検討委員会

新神戸地域ビジョン案(骨子案・素案)の作成

パブリック・コメント

新神戸地域ビジョン策定

R3年12月
~
R4年1月

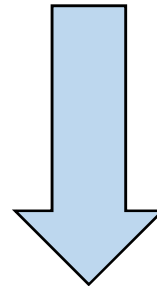
R4年
3月末

紡ぎ出されたキーワード <楽しむ、多様性、挑戦、自然と街、選択肢の多さ>

- ・人々が神戸で幸せに、神戸がよいところだと思って暮らしていることが人を引き寄せる
- ・非常に多様性があり、山があつて、海があつて、そこに町がしっかりとある
- ・多様な自然と街があり、ゆとりのあるライフスタイル・生活を実現できる
- ・それぞれの価値観に基づいて多様な挑戦ができる
- ・神戸ならではの環境を利用して、いろんな生活様式を提案できるモデル地域のような役割を果たすことができる
- ・自分のライフスタイルで何が必要か考えた時、山が好き、下町がいいなど様々なニーズに対して、神戸は選択肢が多い

価値意識の変化

- ・個性、多様性重視
- ・集中から分散へ
- ・ボーダレス化



社会環境の変化

- ・人口変動
- ・多文化共生の進展
- ・産業構造、就業構造の変化
- ・地域のつながりの変化
- ・自然環境との共生のあり方の変化

あるべき姿

みんなの希望にフィットするまち・神戸

つながるまち

うまれるまち

そだてるまち

新神戸地域ビジョンのコンセプト

神戸に今ある資源を「つなげて」、新しいものを「うみだし」、それを「そだて」ていく

つながるまち



豊かな自然環境を次代につなげる
都市と自然がシームレスにつながる
世界とつながる
歴史と文化を未来につなげる

そだてるまち



次の世代、次の社会の担い手をそだてる
安心・安全な暮らしを守る地域のつながりをそだてる
地域の担い手をそだてる
多様な主体がともに社会をそだてる

みんなの希望に
フィットするまち
神戸

うまれるまち



新しいアイデア、新しいビジネスがうまれる
自分らしいライフスタイルがうまれる
新しい共生のかたちうまれる
シビックプライドがうまれる

つながるまち

豊かな自然環境を次代につなげる

- 環境に優しい暮らしを広げる
- 地域のなかで資源を有効に循環させる

都市と自然がシームレスにつながる

- 地理的・空間的に自由な移動・交流ができる
- これからの「農都」：「農」と都市生活の豊かな関係を深める

世界とつながる

- 神戸の豊かさと固有の文化を発信する
- 神戸を訪れたいくなる、神戸で働きたいくなる人を増やす

歴史と文化を未来につなげる

- 学びのなかで自分たちのまちとつながる、まちを知る機会をもつ
- 地域資源の保護・活用を通してまちの今までとこれからを考える

<県民の意見>

下水道のリン酸を抽出してできた肥料を使用し、花を育てている。野菜などでも同じことを行っていくと、神戸の中で循環ができると思う。

実際の距離よりも、都市部と田園部の距離が開いている気がする。物理的な距離を意識しないような、境目を感じない関係にしたい。

地元の魅力は感じるだけではなく、他の人に伝えていかなければいけない。

人々が神戸で幸せに、神戸がいいところだと思って暮らしていることが人を引き寄せる。

神戸ならではの文化や歴史を知ってくれる人を増やすために、小さいときから文化や歴史に触れる機会を増やしていく必要がある。

うまれるまち

新しいアイデア、 新しいビジネスが うまれる

- アイディアをかたち
にできる、起業
できる
- 多様なプラット
フォームから新し
い事業がうまれる

自分らしい ライフスタイルが うまれる

- 自分らしいライフ
スタイルを実現で
きる
- 様々なライフコー
スのなかで人々の
希望がかなう

新しい共生のかたち がうまれる

- すべての人を社会
のメンバーとして
迎え入れる
- 互いに尊重しあい、
共に生きる

シビックプライド がうまれる

- 地域のことを「自
分たちのこと」と
して考える
- 神戸のもつブラン
ド、地域がもつ価
値を再発見する

< 県民の意見 >

新たなサービスや商品
作りに挑戦ができる環
境を育てることが大事。

誰もが気軽に繋がり合
えるプラットフォーム
が神戸にあるといい。

コロナにより、自分なり
の生き方について考え出
した人が多いと感じる。

神戸は選択肢が豊富の
ため、いいこと取りが
できる魅力がある。

他国のルーツを持つ人
たちが神戸の住民とし
て定着し、神戸がふる
さとなる環境に変化
している。

神戸の魅力を聞かれた
ときに、具体的なもの
が拳がってきにくいの
で、神戸の魅力を実際
に肌で感じる機会を増
やすことが大事。

そだてるまち

次の世代、次の社会の担い手をそだてる

- 子どもたちが地域と関わる居場所をつくる
- 神戸だから学べることを大切にする

安心・安全な暮らしを守る地域をそだてる

- 地域のつながりに新しい人を迎え入れる
- 地域の人々が支え合うつながりを守る

地域の担い手をそだてる

- 地域のなかでつながりをつくる人を増やす
- 相互扶助のサイクルを循環させる

多様な主体がともに社会をそだてる

- 公共の担い手をそだてる
- 地域社会の維持に多様な人・組織が関わる

<県民の意見>

人との繋がりが学校で留まってしまっており、地域と繋がっていない感じがする。

居場所づくりが次世代の地域の担い手づくりにつながる。

地域が安全で、誰もが安心して暮らせるまちにしたい。

潜在的に存在する地域のために何かをしたい人が地域に入るきっかけ作りが必要。

サポートする側、される側を固定化しないことが基本的な理念として非常に重要。

公共の担い手を育成するためには、行動する人を増やしていくことが必要。

新神戸地域ビジョン 策定スケジュール

資料 4

年度	月	検討委員会	県民との意見交換	
R2	8	(8/4) 第1回	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>ビジョンを語る会 8/28：地域デザイン会議 ※地域デザイン会議併催 9/2：農業者（若手） 10/6：神戸市小売市場連合会 10/28：長田で活動する若者</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>地域デザイン会議 8/28：第1回（学生・企業人合同） ※語る会と併催 9/18：第2回（企業人G） 10/16：第3回（学生G） 11/17：第4回（企業人G） 2/23：第5回（学生G） ※未来フォーラムと併催</p> </div> </div>	
	9			
	10			
	11	個別ヒアリング 第1回の意見の深掘り		
	12			
	1			
	2			(2/23) 未来フォーラム 地域デザイン会議の意見をもとに、グループワークを実施
	3			
R3	4			
	5		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 市町・地域団体への説明 県政懇話会（9区で実施）</p> </div>	
	6	(6/10) 第2回 骨子案の検討		
	7			
	8			
	9			
	10	素案の事前確認		
	11	(11/11) 第3回 素案の検討→素案修正	(11/26) 地域未来フォーラム開催 新地域ビジョンをメインテーマに、参加者が神戸地域の未来を語り合う	
	12	ビジョンの種、芽の事例 掲載許可取り	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>パブリック・コメント 実施</p> </div>	
	1			
	2	パブリック・コメント 実施後、素案修正		
3		新地域ビジョン 策定		

参考：新全県ビジョン
兵庫県将来構想研究会 新全県ビジョンのたたき台となる将来構想試案の作成
将来構想試案 策定
長期ビジョン審議会 新ビジョン策定を調査審議
新ビジョン企画委員会 新全県ビジョン案を作成
議会へ骨子案の報告
本体案の策定
パブリック・コメント 実施

R4	4～	新全県・新地域ビジョンの実現に向けた方策の検討
----	----	-------------------------

第1部 策定趣旨

新ビジョンの基本的な性格

- 県民と共にやりたい姿を描くビジョン
- 県民が主役になり、地域の主体的な取組を重視するビジョン
- 作って終わりではなく、成長するビジョン

展望年次

- 私たちの子や孫が生きる30年先の2050年頃の理想の社会像を描く

位置づけ

- 県政の基本指針

全県と地域

- 全県ビジョンと一体的に、地域ごとの地域ビジョンを策定

第2部 策定の背景

内外の動き

- 人口減少・超高齢化
- 地球からの警鐘
- テクノロジーの進化
- 世界の成長と一体化
- 経済構造の変容
- 価値観と行動の変化

地域社会の基調変化

- ✓ 多様な価値を認め、変化に柔軟に対応できる社会を
- ✓ 自分なりの生き方が選択できる自由度の高い社会を
- ✓ 「競争」よりも共に歩む「包摂」を
- ✓ 「効率」よりも持続する「循環」を

兵庫の強み

1 個性ある五国

- 今に息づく五国の個性
 - 摂津：開放的な都市文化
 - 播磨：ものづくりと城と祭り
 - 但馬：変化に富む恵み多き自然
 - 丹波：都会に近い豊かな田舎
 - 淡路：古来からの「御食国」

2 開放的な地域性

- 世界に開かれた交流の結節点
- 進取の気性豊かな兵庫人

3 培ってきた地力

- 高度なものづくり産業、多彩な地場産業
- 世界有数の先端科学技術基盤
- 多様な風土と、そこで育まれる多彩な食材
- 度重なる災害で培ってきた防災・減災の力

第3部 めざす姿

<めざす兵庫の姿>

すべての人が希望を持って生きられる

一人ひとりの可能性が広がる「躍動する兵庫」

<めざす社会の姿>

<大事にしたい視点>

I 自分らしく生きられる社会

① 自分らしく生きられる

II 新しいことに挑戦できる社会

② チャレンジする人が育つ

III 誰も取り残されない社会

③ 認め合いつながる

IV 自立した地域経済

④ 地域に息づく経済をつくる

V 持続可能な社会

⑤ 五国が織りなす県土をいかす

I 自分らしく生きられる社会

○ 自由になる生き方

いろんな生き方を自分の意思で選ぶことができ、自分なりの役割を見出せる社会

- ・自分なりの役割が社会の中にある
- ・ライフスタイルに合わせて働く場所と時間を選べる
- ・場所や組織にとらわれない生き方が広がる
- ・複数の場で活躍する人が増える

○ 居場所のある社会

誰もが人とつながることができる居場所を持ち、孤独を感じないで暮らせる社会

- ・人とつながれる居場所が地域にある
- ・共通の趣味や関心で結ばれた活発なコミュニティ
- ・地域を超える多様なコミュニティの広がり
- ・仮想空間での交流の深まり

○ 世界へ広がる交流

五国の多彩な魅力が人を惹きつけ、国内外との双方向の交流が活発に行われる社会

- ・五国の個性に磨きがかかる
- ・国内外からの来訪者が増加
- ・相互の交流が活発化
- ・兵庫の人材・企業が世界で活躍
- ・国内外から集まった人々が県内で生き生きと活動

Ⅱ 新しいことに挑戦できる社会

○ 自由な学びが広がる社会

子どもの個性を伸ばす教育が営まれ、大人になってからも学び続けられる社会

- ・他者を尊重し、意見の異なる相手の考えを理解
- ・子どもの個性を伸ばす学校教育
- ・地域全体を学びの場に変える体験教育
- ・誰もが学びたいときに学びたい場所で学べる

○ わきあがる挑戦

アイデアを形にする小さな挑戦が無数に行われ、新しい仕事が次々と生まれる社会

- ・起業をめざす人材が国内外から集まる
- ・スモールビジネスに挑戦し、地域課題を解決
- ・何度でも挑戦できる環境が整う
- ・自分なりの課題を持って、新しい活動に取り組む

○ 新しい文化の創造

芸術が暮らしに彩りを与え、新しい文化を創る多様な活動が展開されている社会

- ・各地で展開される多彩な表現活動
- ・兵庫が文化芸術の世界的な中心地に
- ・世界を魅了する新しい文化を創造
- ・アートやデザインを学び、まちづくりやビジネスへ応用

Ⅲ 誰も取り残されない社会

○ 誰もが生きやすい社会

年齢、性別、障害の有無、国籍等に関わりなく、誰もが自分らしく生きられる社会

- ・異なる文化や価値観への理解
- ・多様な生き方を受容
- ・いくつになっても生きがいを追求
- ・誰もが快適に過ごせるユニバーサルなまちづくりが進展
- ・デジタルディバイドが解消

○ 子育て安心社会

地域に見守られながら安心して子育てができ、いろいろな形の家族が認められる社会

- ・社会全体で手厚く支援
- ・子育てファーストの雇用就業環境
- ・子育ての多様性を受容
- ・経済的な不安なく子どもを生める
- ・地域や知り合い同士で支え合う関係が広がる

○ 支え合い安心して暮らせる地域

医療・福祉サービスが充実し、どこに住んでいても安心して暮らし続けられる社会

- ・データを活用した健康づくり・医療で健康寿命が延伸
- ・遠隔・在宅診療が普及
- ・充実した介護サービス
- ・困った時に手を差し伸べてくれる地域の見守りネットワークの定着

IV 自立した地域経済

○ 循環が息づく地域経済

地域の課題に対応する仕事が次々と生み出され、地域の中でお金が循環する社会

- ・ものづくり産業が地域経済を牽引
- ・地場産業の活躍
- ・住民主体のコミュニティビジネス
- ・持続可能性と収益性を両立する「循環経済」が根付く
- ・多様な就労の形が広がる

○ 進化する御食国

多様な気候風土を活かして多彩な食を生み出し、地域に豊かな食が行き渡る社会

- ・兵庫の農の競争力が高まる
- ・ブランド化・6次産業化で小さくてもきらりと光る生産者
- ・超省力・高品質の生産体制
- ・地域全体で支える農業
- ・獲る漁業から育てる漁業へ

○ 活動を支える確かな基盤

安全を支える基盤が整い、危機に際しては地域が団結して迅速に対応する社会

- ・移動交通網の高度化
- ・感染症にも対応した危機管理体制
- ・社会基盤の強靱化
- ・自ら危機に備える意識が高まる
- ・巨大災害の被害の最小化と速やかな復興

V 持続可能な社会

○ すべての地域が持続する分散型社会

地域の特性を生かした豊かな暮らしが各地で営まれ、大都市集中が和らいだ社会

- ・炭素中立な暮らし
- ・再生可能エネルギーの最大活用による地域のエネルギー自立
- ・二地域・多拠点の暮らしの広がり
- ・住民主導・人間中心のまちづくりの進展

○ 水と緑豊かな自然

豊かな自然を再生する取組が進み、社会の共有財産として大切にされている社会

- ・魅力ある風景が育む地域への愛着
- ・農村・森林の公益的機能への理解促進
- ・林業の成長産業化
- ・栄養循環による豊かな海の再生
- ・生態系サービスの維持向上

○ 地球の持続に貢献する産業

兵庫発の環境・エネルギー・健康医療産業が、地球の持続可能性を高めている社会

- ・水素社会を先導
- ・人類の持続可能性を高める環境・エネルギー・健康医療産業の集積
- ・科学技術基盤を活かした課題克服
- ・企業のデジタル化とデータ活用による付加価値創出

第4部 実現に向けて

基本姿勢

- 試行錯誤のプロセスを楽しむ
- プロセスを透明化し、みんなで共有する
- 世界に目を向け、地域から行動する
- バーチャルを使いこなし、リアルを大切にする

動かす仕組み

- **実行プログラムの策定**
 - ・地域創生戦略をビジョンの実行プログラムと位置づけ
- **重点プロジェクトの推進**
 - ・ビジョン実現に向けたリーディングプロジェクトを設定
 - ・地域ビジョン実現に向けたプロジェクト企画委員会を各地に設置
- **対話と学びの場づくり**
 - ・県民が地域の未来を語り合い、考える場づくりを各地で展開
- **推進状況の見える化**
 - ・推進状況を毎年度公表、状況に応じて柔軟にビジョンを見直し